３　産業関係

（１）栃木県の輸出入動向

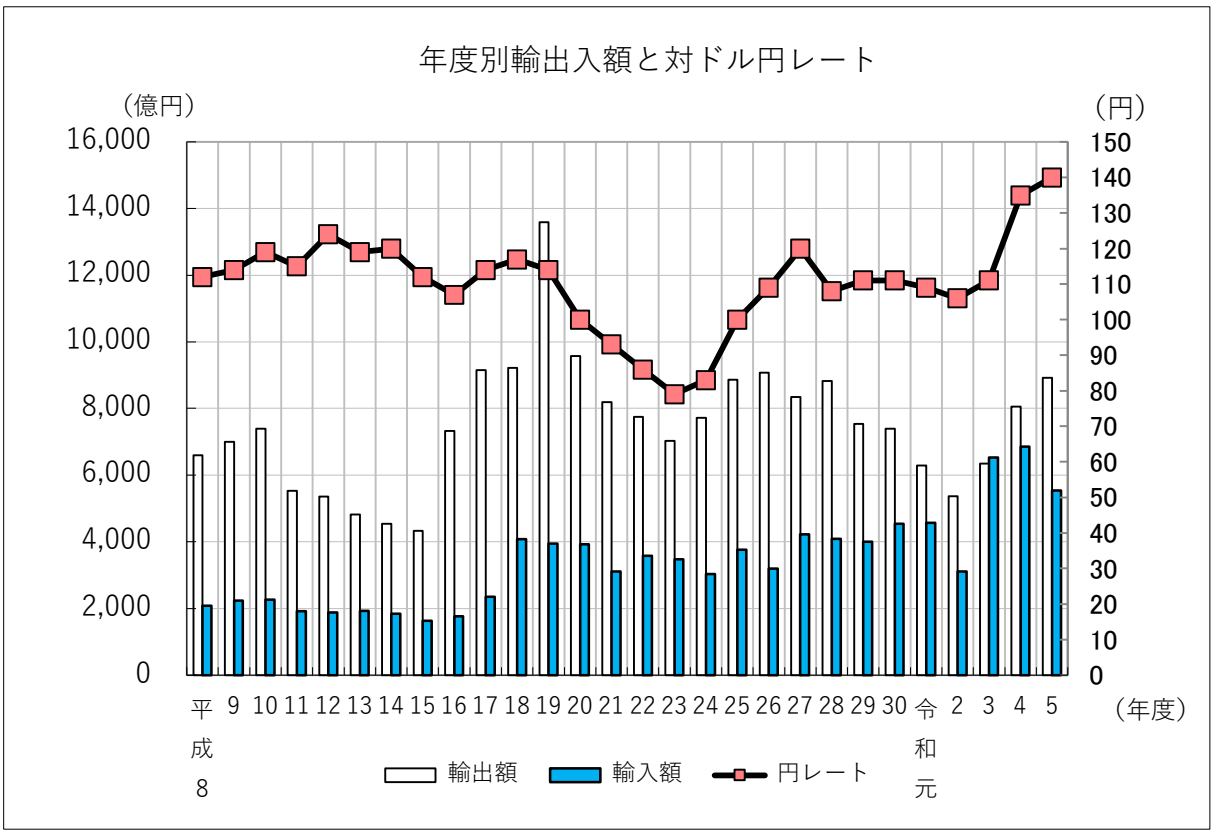
※令和６（2024）年度栃木県国際経済交流調査

年度別輸出入額と対ドル円レート

年度	輸出額（百万円）	輸入額（百万円）	円レート（円）
平成8	659,921	208,439	112
9	699,789	223,158	114
10	739,265	226,185	119
11	553,076	192,272	115
12	535,893	187,011	124
13	482,136	193,146	119
14	453,984	183,381	120
15	433,452	162,520	112
16	732,149	176,437	107
17	915,197	234,947	114
18	922,188	408,121	117
19	1,358,407	394,168	114
20	957,194	393,136	100
21	818,902	311,128	93

年度	輸出額（百万円）	輸入額（百万円）	円レート（円）
22	775,230	357,634	86
23	702,110	347,278	79
24	772,376	303,441	83
25	885,991	375,876	100
26	907,406	319,681	109
27	834,233	422,662	120
28	881,978	408,481	108
29	754,590	400,525	111
30	739,408	454,239	111
令和元	629,267	456,987	109
2	536,985	311,247	106
3	634,307	652,826	111
4	805,653	685,636	135
5	891,340	553,999	140

対ドル円レート：財務省貿易統計の外国為替相場（年度平均レート）



※1　調査方法　インターネットおよび郵送によるアンケート調査

2　調査対象期間　令和5(20223)年４月１日から令和6(2024)年３月31日までの１年間

3　回収率　46.1%(調査対象は県内に立地する事業所1,000社、うち回答461社)

(2)栃木県の外国人宿泊者数　国・地域別順位

○令和元年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	台湾	48,918人	19.8%
2	中国（大陸）	36,303人	14.7%
3	タイ	18,306人	7.4%
4	香港	13,576人	5.5%
5	韓国	11,159人	4.5%
	その他	118,916人	48.1%
	計	247,178人	100.0%

○令和２年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	中国（大陸）	6,820人	16.8%
2	台湾	6,395人	15.8%
3	タイ	3,423人	8.5%
4	米国	2,829人	7.0%
5	香港	2,138人	5.3%
	その他	18,875人	46.6%
	計	40,480人	100.0%

○令和３年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	中国（大陸）	2,931人	17.4%
2	米国	1,774人	10.6%
3	ベトナム	1,689人	10.0%
4	韓国	1,182人	7.0%
5	インドネシア	1,054人	6.3%
	その他	8,180人	48.7%
	計	16,810人	100.0%

○令和４年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	米国	5,276人	11.5%
2	ベトナム	3,267人	7.1%
3	台湾	3,246人	7.1%
4	タイ	3,206人	7.0%
5	中国（大陸）	2,825人	6.2%
	その他	27,976人	61.1%
	計	45,796人	100.0%

○令和５年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	台湾	43,724人	18.6%
2	米国	34,726人	14.8%
3	中国（大陸）	21,091人	9.0%
4	タイ	15,815人	6.7%
5	香港	13,529人	5.8%
	その他	106,398人	45.2%
	計	235,283人	100.0%

○令和６年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	台湾	53,596人	19.2%
2	中国（大陸）	26,380人	9.4%
3	米国	26,332人	9.4%
4	韓国	21,037人	7.5%
5	タイ	18,111人	6.5%
	その他	133,761人	48.0%
	計	279,217人	100.0%

※出典　栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査

令和６（2024）年度 栃木県産農産物の輸出実績について

令和７(2025)年６月６日　農政部経済流通課

〇令和６(2024)年度の栃木県産農産物の輸出額は８億 2,366 万円（前年度比 151%）と過去最高額となった。
〇牛肉については、既存の生産者の輸出量増加に加え、新たな生産者の取組により輸出額が増加した（過去最高）。
〇いちごについては、産地における計画的な出荷や、輸入規制の対応への支援により輸出額が増加した（過去最高）。
〇今後とも、アメリカによる相互関税措置等の国際情勢の変化を的確に捉え、海外の需要喚起や輸出産地への支援を行っていく。

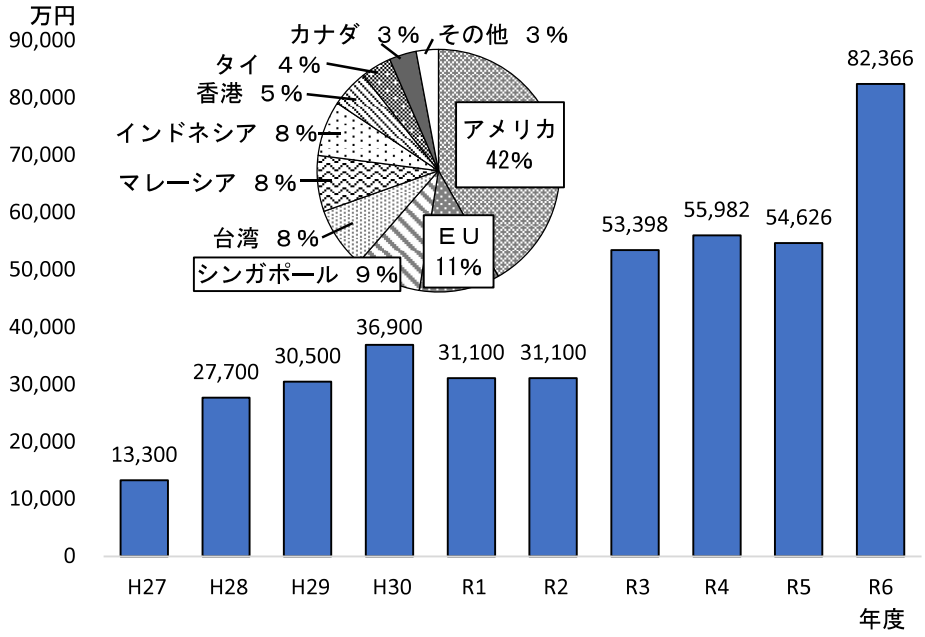
※加工食品を含めた「農産物及び加工食品の輸出実績」については、令和８(2026)年３月に公表予定。

１　輸出額

８億 2,366 万円（前年度比 151%）

２　主な輸出品目の内訳

品目	輸出額（前年度比）	割合	主な輸出先（上位国・地域）
牛肉	５億 6,157 万円（172%）	68.2%	アメリカ、シンガポール
花き	１億 605 万円（131%）	12.9%	ＥＵ、アメリカ、中国
いちご	6,577 万円（227%）	8.0%	台湾、タイ、香港
コメ	5,299 万円（ 91%）	6.4%	カナダ、アメリカ、香港
なし	1,222 万円（ 45%）	1.5%	マレーシア、インドネシア、シンガポール
その他	2,506 万円	3.0%	

※表中の数字は四捨五入による端数調整をしていないため、内訳と計が一致しない場合がある。
※本輸出実績は、産地や事業者等を対象として実施した任意調査の集計値である。

輸出額の推移及び国別輸出額の割合（R6年度）